



浜坂高生徒（中央）の指導で、麒麟獅子舞の動きに挑戦する子どもたち＝新温泉町の浜坂多目的集会施設

麒麟獅子舞、楽しく学ぶ
子ども向けワークショップ
浜坂

日本遺産「麒麟のまち」推進協議会は、新温泉町の浜坂多目的集会施設で「こどもたちのための麒麟獅子舞ワークショップ」を開いた。参加者は獅子頭作りや舞の代表的な動きに挑戦し、地元につながる伝統芸能に理解を深めた。

次代を担う子どもたちに麒麟獅子舞について深く知り、親しんでもらうことを目的に毎年開催。兵庫県北但西部と鳥取県東部の1市6町で構成する「麒麟のまち圏域」在住の園児と児童8人が参加した。

催しでは、舞の動きや獅子頭の顔立ちの特徴などを学んだ後、浜坂高（同町芦屋）の麒麟獅子舞部の

生徒4人による演舞を鑑賞。段ボールのキットを使った獅子頭の製作に親子で取り組み、色付けして思い思いの獅子頭を完成させた。

作り上げた獅子頭を早速使い、同校生徒の指導で、麒麟獅子舞の伸びやかな動きを体験。笛の音に合わせて舞を楽しんだ。

家族4人で参加した明星認定こども園の田中聖来ちゃん（3）は「獅子舞を踊るのが楽しかった。また踊りたい」と笑顔。舞を指導した同部の山本庵心副部長（17）は「子どもたちにも麒麟獅子舞を知ってもらい、次世代につないでいってほしい」と願っていた。

（安部航太）